



*Best Synergy & Best Solution*

# 平成25年3月期 決算説明会

平成25年5月16日

# 目次

## I. 平成25年3月期決算の概要

I-1. 決算の状況	1
I-2. セグメント別営業収益	2
I-3. セグメント別営業利益	3
I-4. 財政状態	4
I-5. キャッシュ・フローの状況	5

## II. 平成26年3月期見通し

II-1. 業績の通期見通し	6
II-2. セグメント別営業収益・営業利益の通期見通し	7
II-3. セグメント別設備投資額・減価償却費の通期見通し	8
II-4. 主な設備投資案件	9

## III. 中期経営計画への取り組み

III-1. 中期経営計画の概要	10
III-2. 海外事業の足元の取組み	11
III-3. 海外事業の今後の取組み	12
III-4. 国内物流事業の取組み状況	13
III-5. 不動産事業の取組み状況	14
III-6. 経営基盤の強化	15
III-7. 各セグメントの成長イメージ	16
III-8. 業績の成長イメージ	17

## 補足資料

1. 保管用倉庫面積・保管残高	18
2. トランクルーム期末保管残高	19
3. 港湾運送取扱量	20
4. 国際輸送取扱量	21
5. 賃貸ビル面積	22

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照下さい。本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確定要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

# **I .平成25年3月期決算の概要**

---

# I-1. 決算の状況

(単位:百万円)

決算期	平成24年3月期		平成25年3月期		増減	
	金額	収益比	金額	収益比	金額	比率
営業収益	139,786	100.0%	156,422	100.0%	16,636	11.9%
営業利益	9,616	6.9%	10,201	6.5%	584	6.1%
経常利益	10,473	7.5%	11,151	7.1%	678	6.5%
当期純利益	6,511	4.7%	6,222	4.0%	△288	△4.4%
1株当たり当期純利益(円)	36.51	-	34.89	-	-	-

営業収益	世界経済の減速により港湾運送や国際輸送の取扱いが減少したものの、ウエストウッド SHIPPING ラインズ社の通期寄与により大幅増収し、過去最高額を記録。
営業利益	文書等情報記録媒体の取扱いが堅調に推移するとともに、租税公課等の減少により、前期比6.1%の増益となり、過去最高益を記録。
経常利益	持分法による投資利益が前期に比べ減少したものの、金融収支の改善等により、前期比6.5%の増益となり、過去最高益を記録。
当期純利益	特別損失として環境対策費を計上したほか、法定実効税率の引下げに伴う繰延税金負債の取崩しを行った前期に比べ法人税等調整額が増加したことから、4.4%の減益。

# I-2. セグメント別営業収益



Best Synergy & Best Solution

(単位:百万円)

区 分	平成24年3月期	平成25年3月期	増	減
1. 物流事業	124,860	124,084	△776	△0.6%
①倉庫収入	21,588	22,379	790	3.7%
②港湾運送収入	37,760	35,845	△1,915	△5.1%
③国際輸送収入	26,612	27,473	860	3.2%
④陸上運送ほか収入	38,899	38,386	△512	△1.3%
2. 海運事業	5,889	23,588	17,698	300.5%
⑤海運事業収入	5,889	23,588	17,698	300.5%
3. 不動産事業	9,768	9,778	10	0.1%
⑥不動産事業収入	9,768	9,778	10	0.1%
計	140,518	157,451	16,932	12.1%
セグメント間内部営業収益	△732	△1,029	△296	△40.4%
純営業収益	139,786	156,422	16,636	11.9%

①倉庫収入	前期に稼働した羽生アーカイブセンターの新施設における文書等情報記録媒体の取扱いが寄与し増収。
②港湾運送収入	コンテナ荷捌は船社の航路再編等があり取扱いが減少し、輸出貨物を中心に取扱いが低調であったため減収。
③国際輸送収入	航空貨物の取扱いやプロジェクト輸送の落込みを海外現地法人の業績がカバーし増収。
④陸上運送ほか収入	物流施設賃貸収入は堅調であったものの、陸上運送収入が減少したことから減収。
⑤海運事業収入	前期4Qに連結の範囲に含めたウエストウッド SHIPPING ラインズ社が通期で寄与し大幅増収。
⑥不動産事業収入	一部の賃貸物件の新テナントの寄与があったものの、賃料改定を実施した影響もあり微増。

# I-3. セグメント別営業利益

(単位:百万円)

区 分	平成24年3月期	平成25年3月期	増 減	
			増	減
1. 物流事業	8,011	8,290	278	3.5%
2. 海運事業	△131	254	385	—
3. 不動産事業	5,456	5,467	11	0.2%
計	13,336	14,011	675	5.1%
調整額	△3,719	△3,809	△90	△2.4%
純営業利益	9,616	10,201	584	6.1%

物流事業	営業収益が前期比0.6%の減収となった一方、賃借費用の削減に努めたことなどから、営業利益は前期比3.5%の増益となる。
海運事業	海上運賃相場が低水準で推移したことに加え、のれん償却額の計上もあり、営業利益は2億5千4百万円にとどまる。
不動産事業	営業収益は増収となったが、営繕費や減価償却費等の増加により、営業利益は前期並みにとどまる。

# I -4. 財政状態

(単位:百万円)

区 分	平成24年3月期末	平成25年3月期末	増 減 額
総 資 産	245,092	263,931	18,839
負 債	124,805	123,634	△1,170
純 資 産	120,287	140,297	20,010
(うち少数株主持分)	(6,016)	(6,465)	449
自己資本比率	46.6%	50.7%	—
1株当たり純資産	640.31円	749.60円	109.29円

総 資 産	借入金の返済及び船舶購入費用の支払い等により「現金及び預金」が減少したものの、株式相場の上昇に伴う「投資有価証券」の増加等により、前期末比7.7%増加。
負 債	借入金の返済や取扱減に伴う営業未払金の減少等もあり、前期末比0.9%減少。
純 資 産	投資有価証券の時価上昇に伴う「其他有価証券評価差額金」の増加及び当期純利益の計上による「利益剰余金」の増加等により、前期末比16.6%増加。

# I-5. キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

区 分	平成24年3月期	平成25年3月期	増 減 額
営業活動によるCF	11,495	14,073	2,577
投資活動によるCF	△11,444	△10,185	1,258
財務活動によるCF	7,539	△10,926	△18,466
現金及び現金同等物期末残高	22,703	16,492	△6,211

営業活動によるCF	税金等調整前当期純利益及び減価償却による資金の留保等により、前期を25億7千7百万円上回る140億7千3百万円となる。
投資活動によるCF	有形固定資産の取得による支出等により、101億8千5百万円の減少となる。
財務活動によるCF	借入金の返済及び配当金の支払い等により、109億2千6百万円の減少となる。

## II.平成26年3月期見通し

---

## II-1. 業績の通期見通し

(単位:百万円)

決算期	平成25年3月期実績		平成26年3月期見通し		増 減	
	金 額	収益比	金 額	収益比	金 額	比 率
営業収益	156,422	100.0%	159,000	100.0%	2,578	1.6%
営業利益	10,201	6.5%	9,900	6.2%	△301	△3.0%
経常利益	11,151	7.1%	10,900	6.9%	△251	△2.3%
当期純利益	6,222	4.0%	6,500	4.1%	278	4.5%
1株当たり当期 純利益(円)	34.89	-	36.45	-		

営業収益	<p>中国経済の先行き不透明感や欧州では政府債務問題による景気後退局面が続くと予想される中で、新興国ではASEAN諸国を中心に経済成長が期待されることや、日本でも新政権による経済政策の実体経済への波及や円安継続による輸出環境の改善が期待されることもあり、物流事業と海運事業は増収増益を予想する。一方、不動産事業において一部の賃貸物件におけるリニューアル工事を予定している関係上、減収減益を見込むことから、連結では、営業収益は1.6%増収、営業利益3.0%減益、経常利益2.3%減益、当期純利益4.5%増益を予想。</p>
営業利益	
経常利益	
当期純利益	

## 11-2. セグメント別営業収益・営業利益の通期見通し

### 営業収益

(単位:百万円)

区 分	平成25年3月期 実績	平成26年3月期 見通し	増 減	
			増	減
1. 物流事業	124,084	125,500	1,416	1.1%
2. 海運事業	23,588	25,500	1,912	8.1%
3. 不動産事業	9,778	9,000	△778	△8.0%
計	157,451	160,000	2,549	1.6%
セグメント間内部営業収益	△1,029	△1,000	29	2.8%
純営業収益	156,422	159,000	2,578	1.6%

### 営業利益

(単位:百万円)

区 分	平成25年3月期 実績	平成26年3月期 見通し	増 減	
			増	減
1. 物流事業	8,290	8,550	260	3.1%
2. 海運事業	254	700	446	175.6%
3. 不動産事業	5,467	4,700	△767	△14.0%
計	14,011	13,950	△61	△0.4%
調整額	△3,809	△4,050	△241	△6.3%
純営業利益	10,201	9,900	△301	△3.0%

## II-3. セグメント別設備投資額・減価償却費の通期見通し

### 設備投資額

(単位:百万円)

区 分	平成25年3月期 実績	平成26年3月期 見通し	増 減	
1. 物流事業	3,636	2,600	△1,036	
2. 海運事業	4,599	200	△4,399	
3. 不動産事業	3,359	5,600	2,241	
計	11,595	8,400	△3,195	
4. 全社	838	200	△638	
連 結	12,434	8,600	△3,834	

### 減価償却費

(単位:百万円)

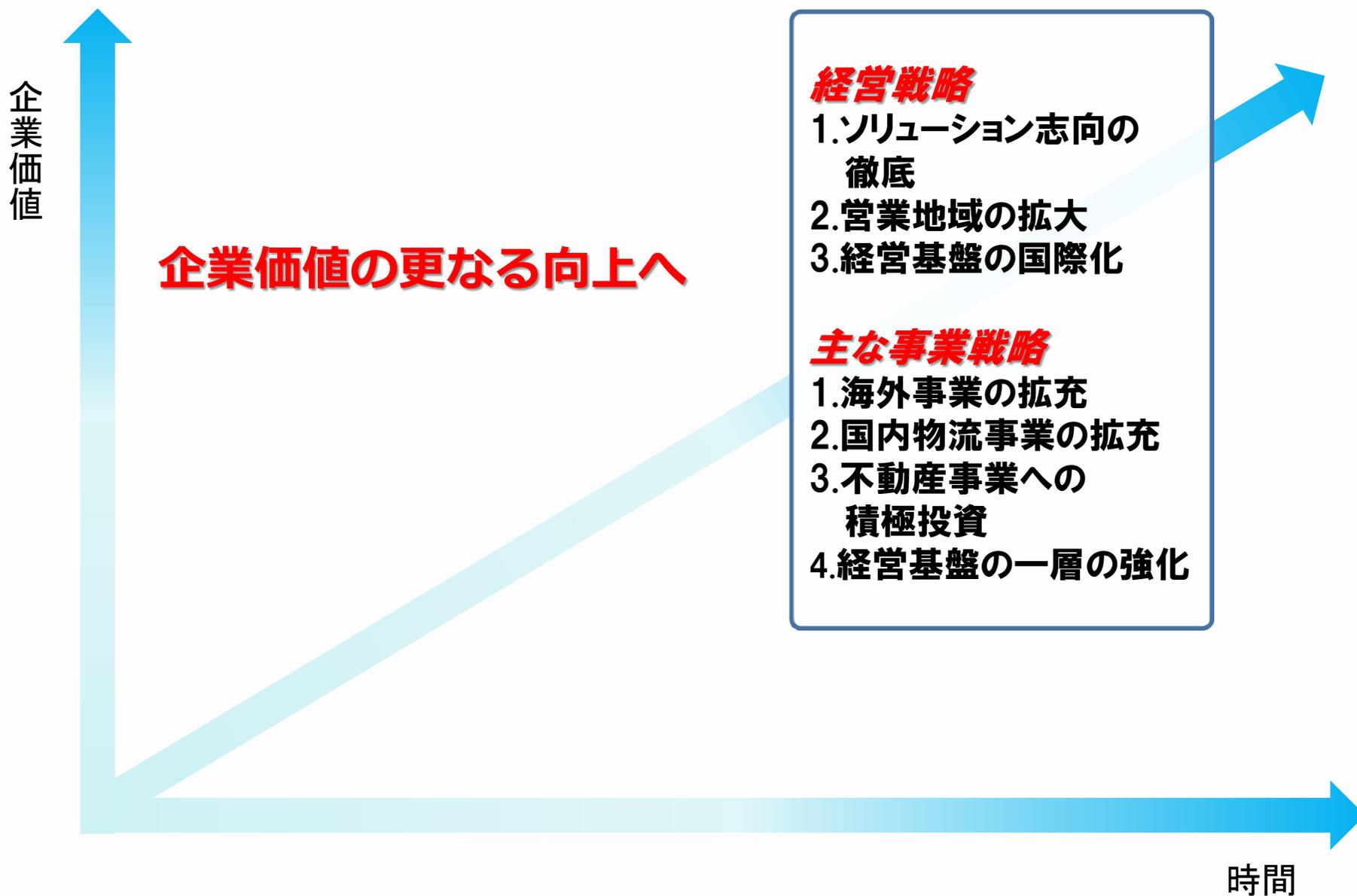
区 分	平成25年3月期 実績	平成26年3月期 見通し	増 減	
1. 物流事業	3,823	3,800	△23	△0.6%
2. 海運事業	442	500	58	13.1%
3. 不動産事業	1,833	1,850	17	0.9%
計	6,099	6,150	51	0.8%
4. 全社	873	850	△23	△2.6%
連 結	6,973	7,000	27	0.4%

## II-4. 主な設備投資案件

区 分		平成25年3月期	平成26年3月期 (通期見通し)
物 流	本牧埠頭コンテナターミナル荷役機器	2.2億円	7.0億円
	遠州トラック関連	8.6億円	9.4億円
不 動 産	東京住友ツインビル中期保全工事（東京都中央区） 工期 H23～H32（予）	12.7億円	7.0億円
	東京住友ツインビル西館リニューアル工事（同上） 工期 H25～H26（予）	—	16.9億円
	淀屋橋ミッドキューブ建設工事（大阪市中心部） 工期 H25.4～H26.3（予）	16.2億円	23.5億円

## III. 中期経営計画への取り組み

---



### 欧州・アントワープ

- ・スポーツ用品配送センター  
新倉庫での業務開始(H24.12)
- ・PC周辺機器配送センター  
業務開始(H25.4)

### 中国・上海

- ・合併会社設立(H24.10)
- ・上海住友倉儲 拠点集約(H24.12)
- ・住友倉儲(中国)第二期倉庫稼働(H25.1)

### ベトナム・ホーチミン

- ・新会社設立(H24.4)
- ・倉庫増床(H25.2)

### サウジアラビア・ラービグ

- ・工業団地内倉庫稼働  
(H25.5)

**欧州**  
汎欧州戦略推進

**中国**  
JSIL 新倉庫稼働  
(H26年中)

**北米**  
WSLを活用した  
物流事業拡大策を  
引続き検討

**ASEAN諸国**  
域内での新拠点構築を  
推進

**サウジアラビア**  
・第二期計画に関わる  
物流への取組み  
・サウジ周辺諸国への  
進出を検討

**シンガポール**  
化学品メーカー  
工場構内物流開始  
(H25年中)

M&Aを含むアライアンスの検討

## 大阪

南港エリアに倉庫用地を取得し、  
庫腹の拡大を検討中

施設概要:

防災機能強化・環境配慮型

## 東京

羽生アーカイブセンター  
第2センター

書類保管の順調な伸長

3月末時点で60%超の在庫水準

## 大阪

スポーツ用品配送センター

全国大型量販店向け業務開始

(H25.夏予)

## 遠州トラック

アーカイブ事業

取扱い本格開始(H25.6)

## 遠州トラック

欧州調理器具メーカー  
配送センター業務開始

(H25.5)

## 東京住友ツインビル



東館：  
貸室面積  
11,260坪  
・テナントからの  
増床要請あり

西館：貸室面積 4,705坪  
・平成25年秋～ リニューアル工事

## 戸田駅前再開発プロジェクト

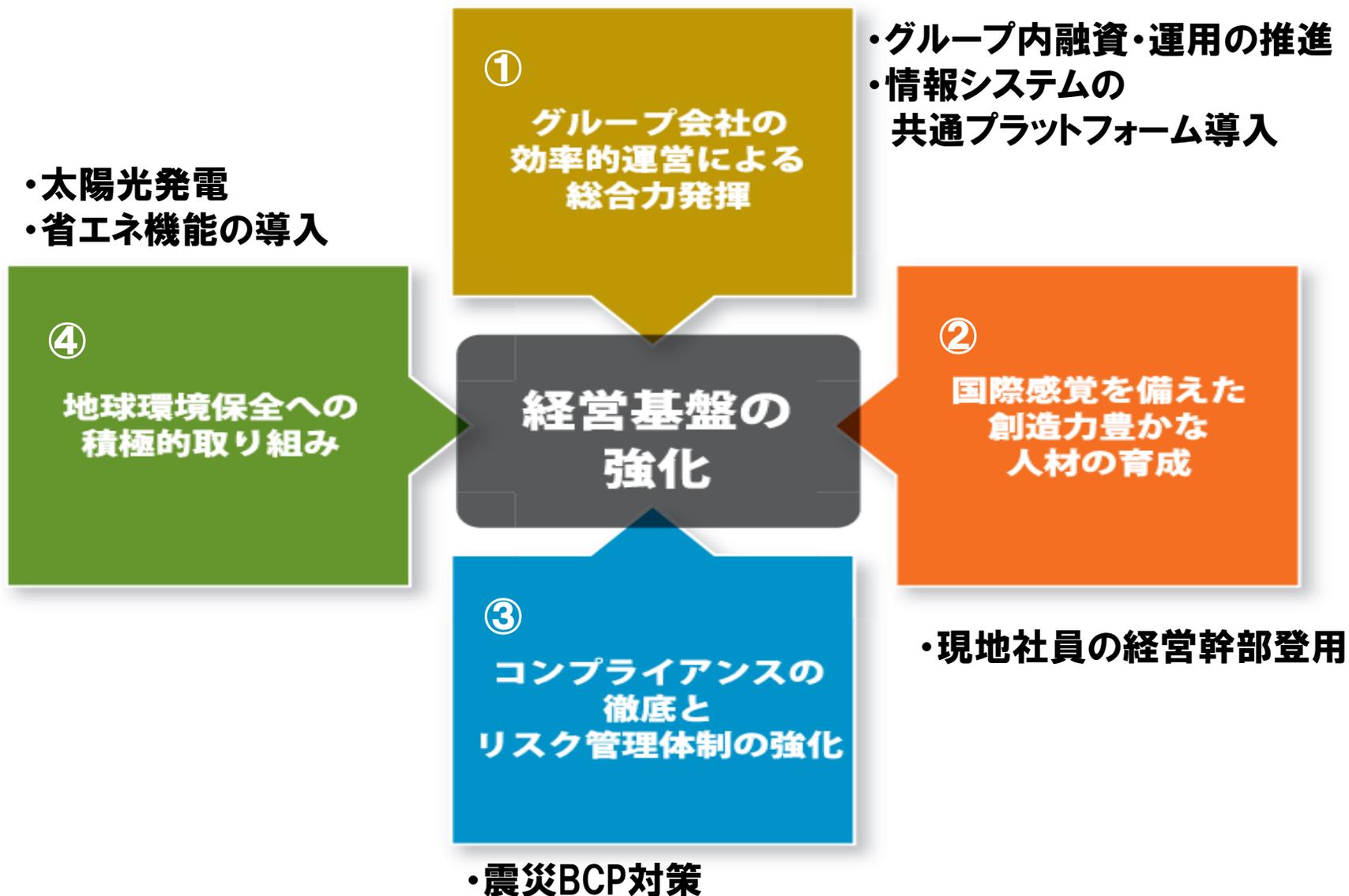
JR埼京線 戸田駅前  
平成27年度再開発着手に  
向け、用途の最終確認段階  
現在の敷地面積(換地前)  
約2,500坪

## 南堀江A地区プロジェクト

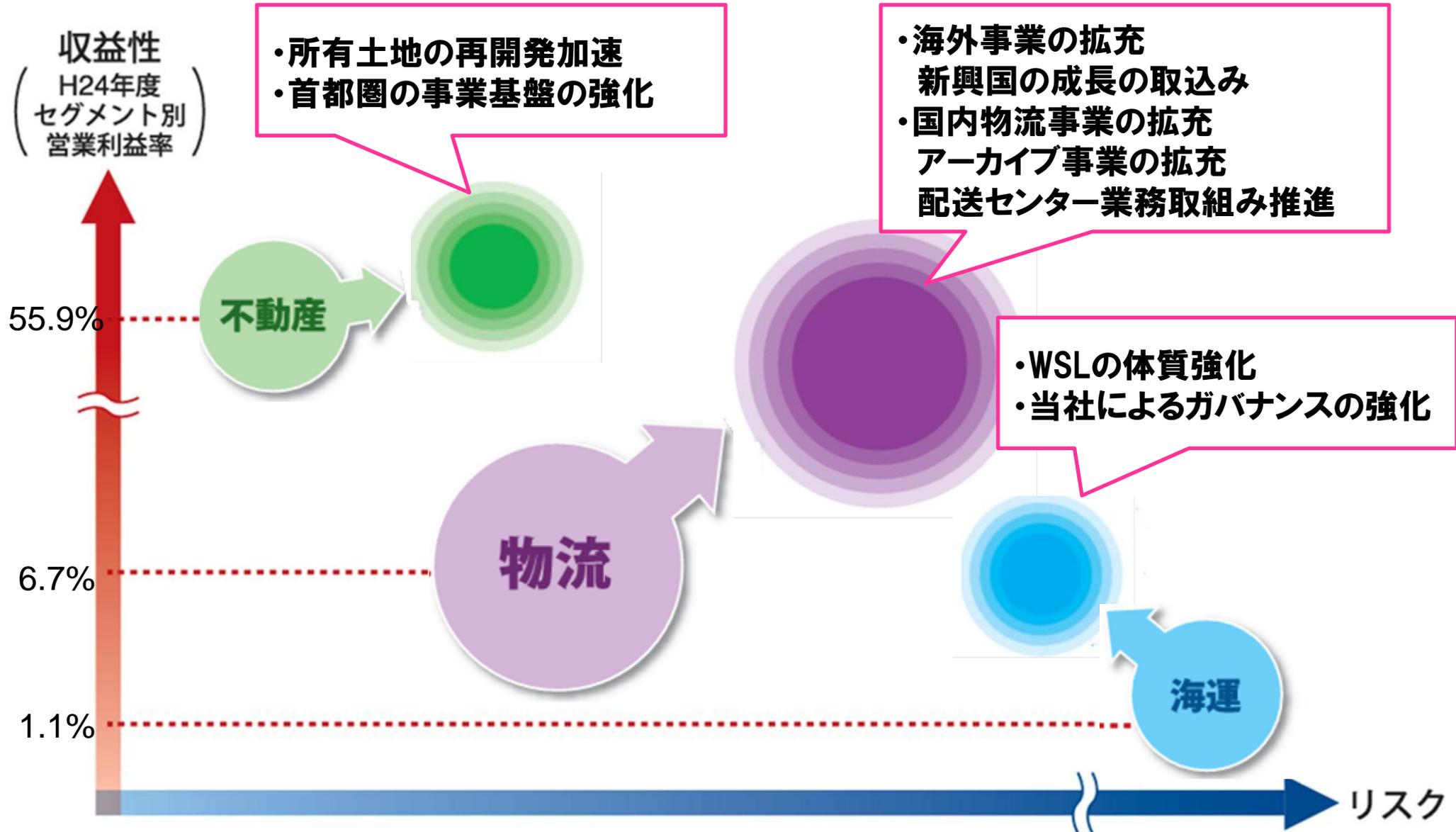
駐車場用地の高度展開を  
継続検討

## 淀屋橋ミッドキューブ

所在地：大阪府中央区北浜4丁目  
建物概要：鉄骨造 地上10階 地下1階  
防災機能：免震構造・非常用発電機  
竣工予定：平成26年3月



# III-7.各セグメントの成長イメージ

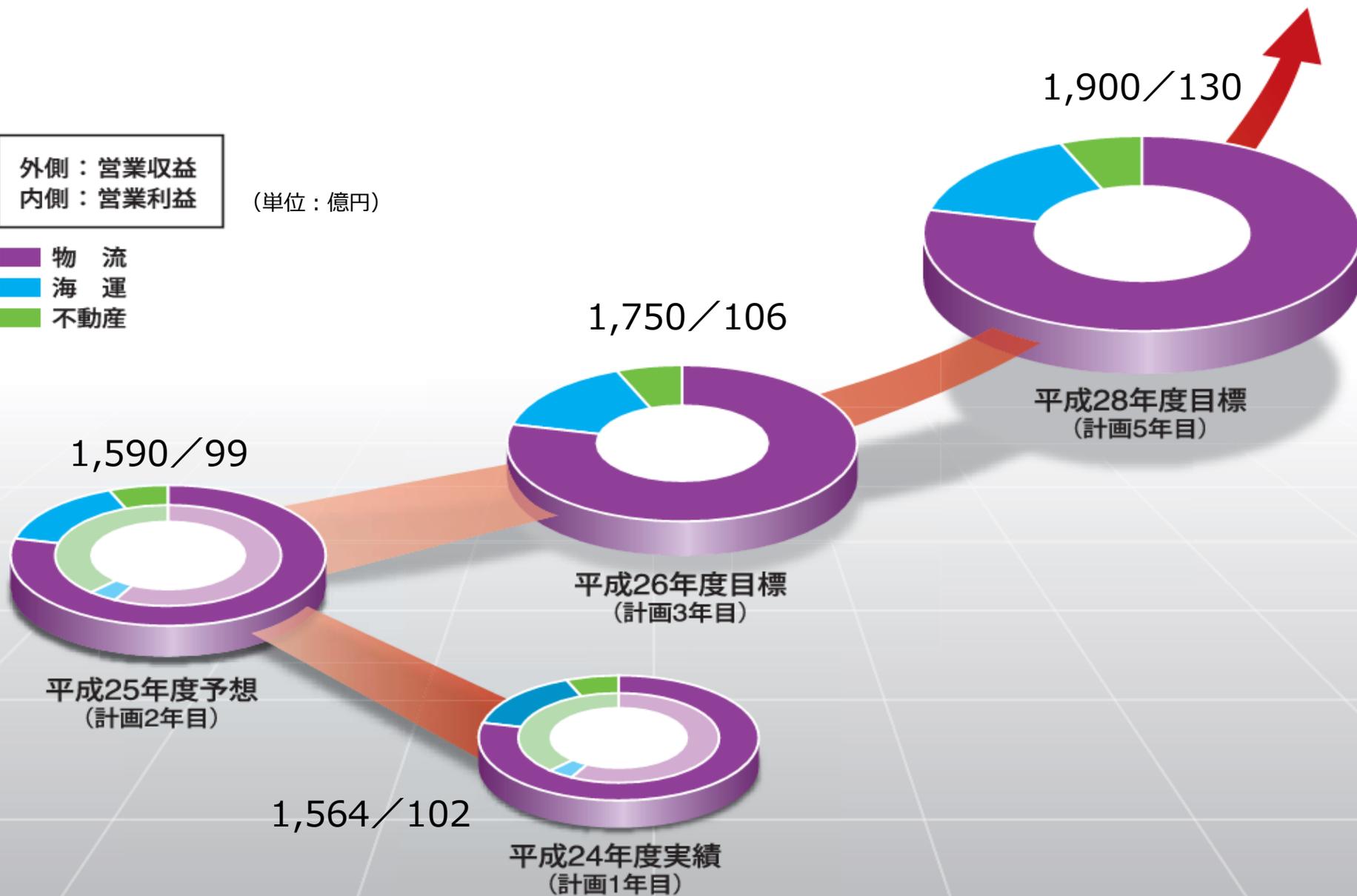


# III-8.業績の成長イメージ

外側：営業収益  
内側：営業利益

(単位：億円)

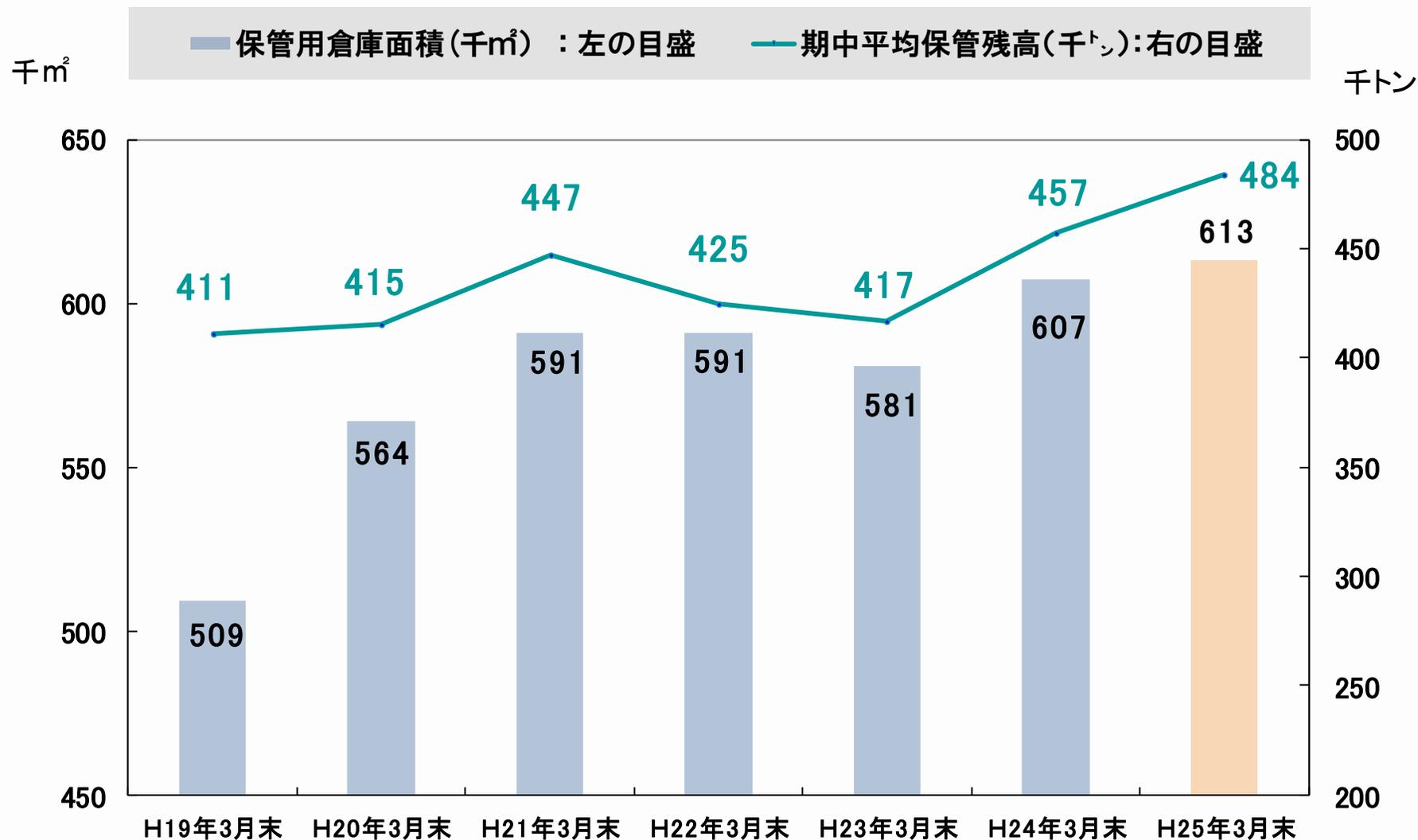
- 物流
- 海運
- 不動産



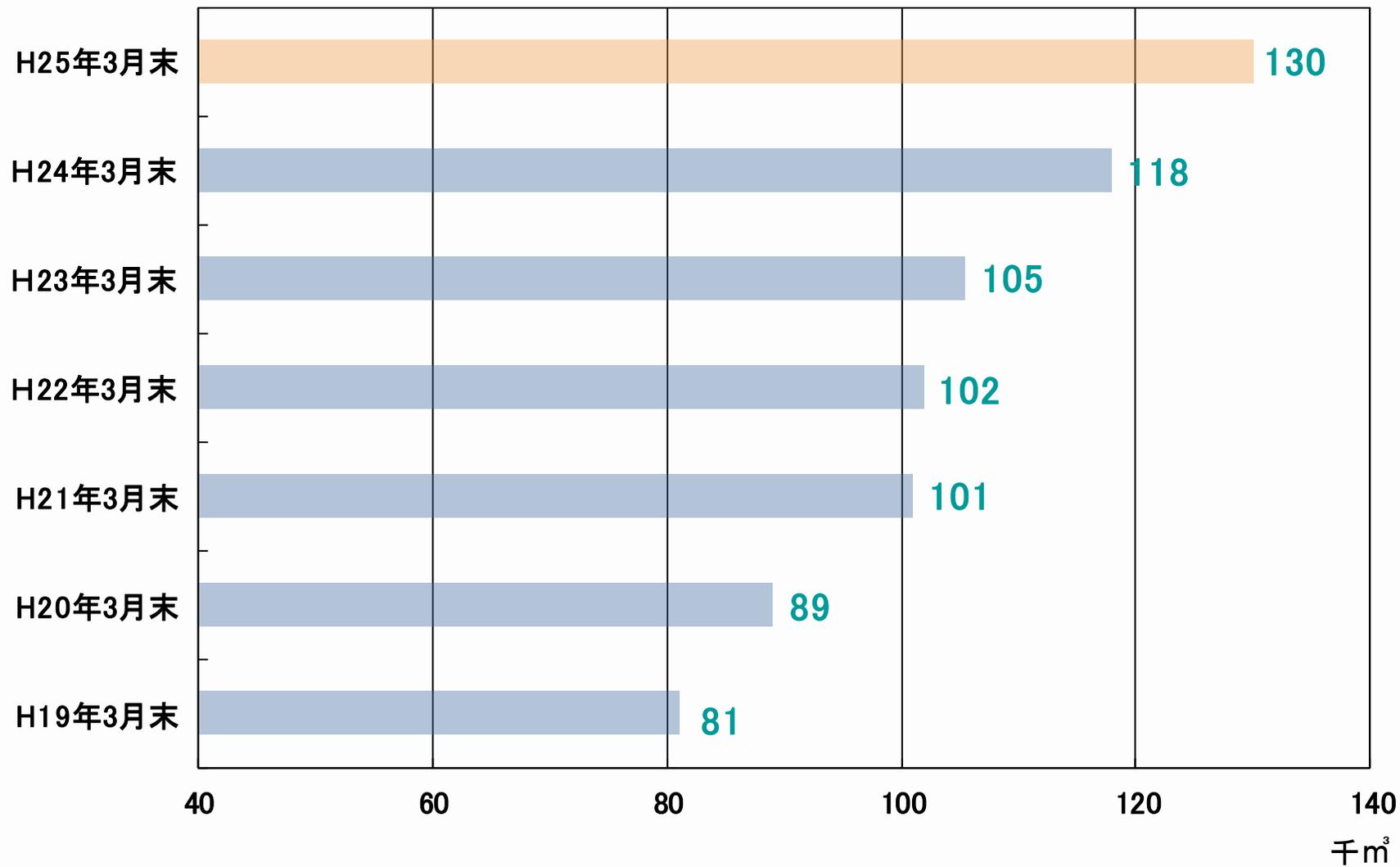
# 補 足 資 料

---

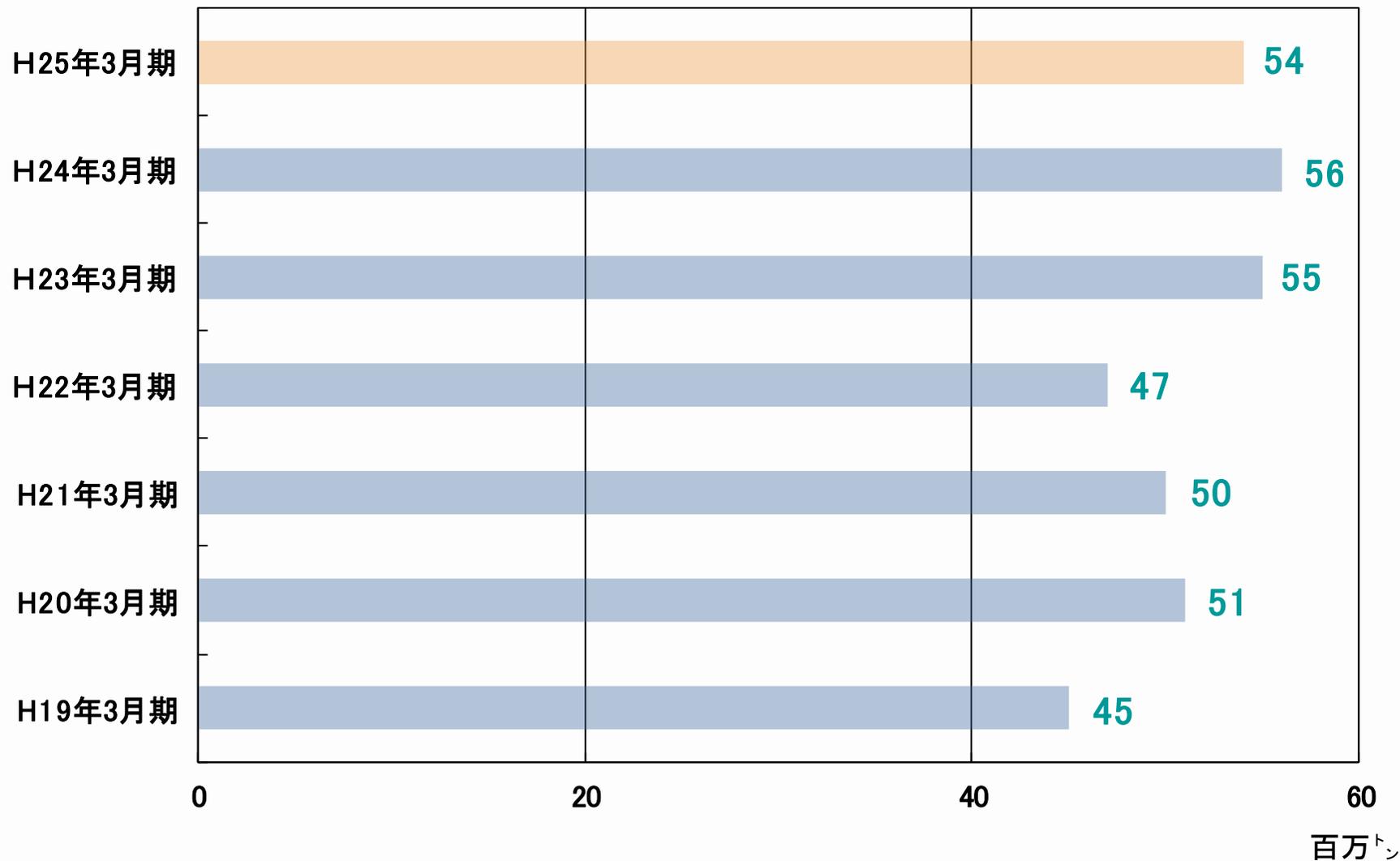
# 1. 保管用倉庫面積・保管残高



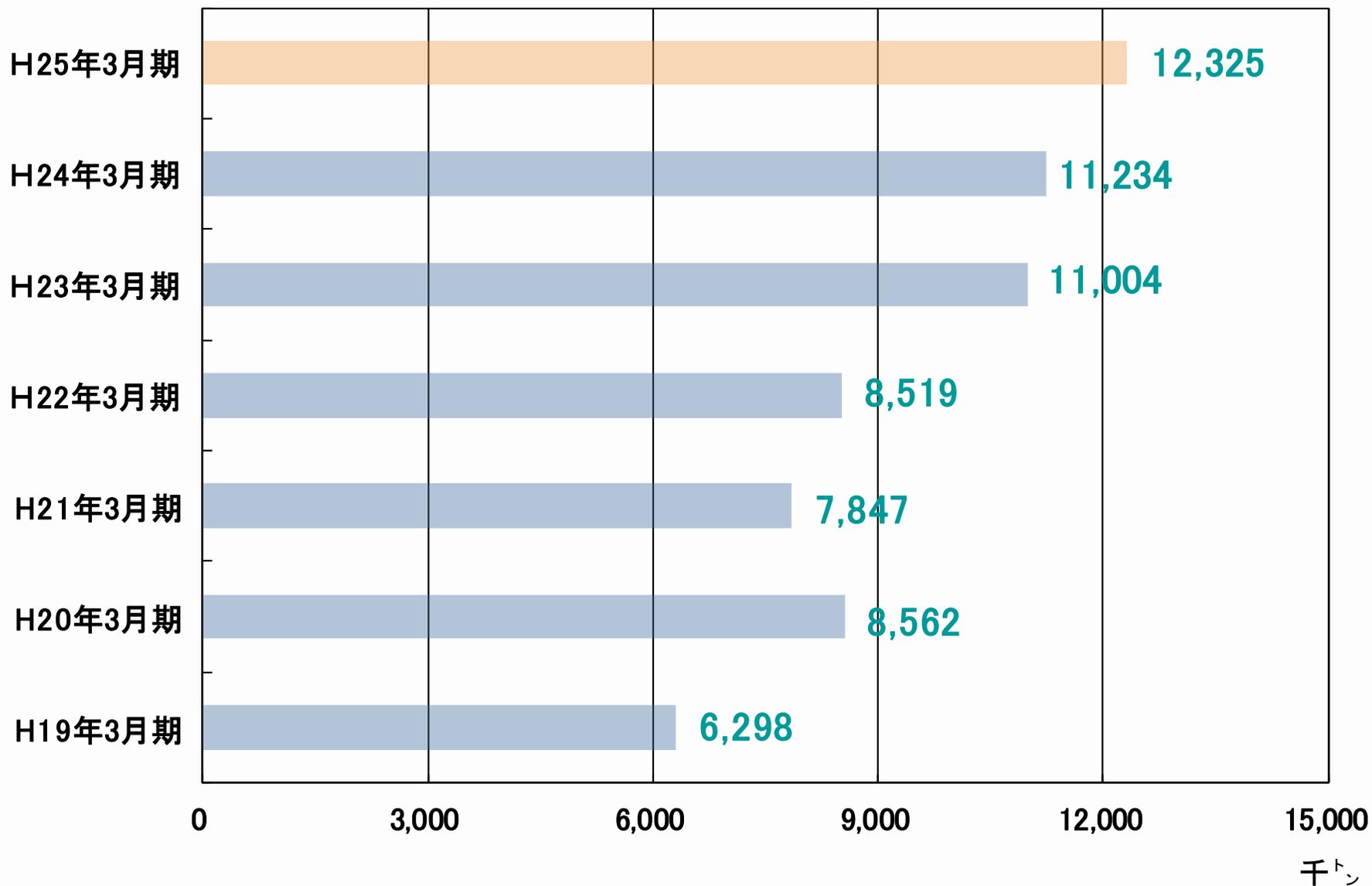
## 2. トランクルーム期末保管残高



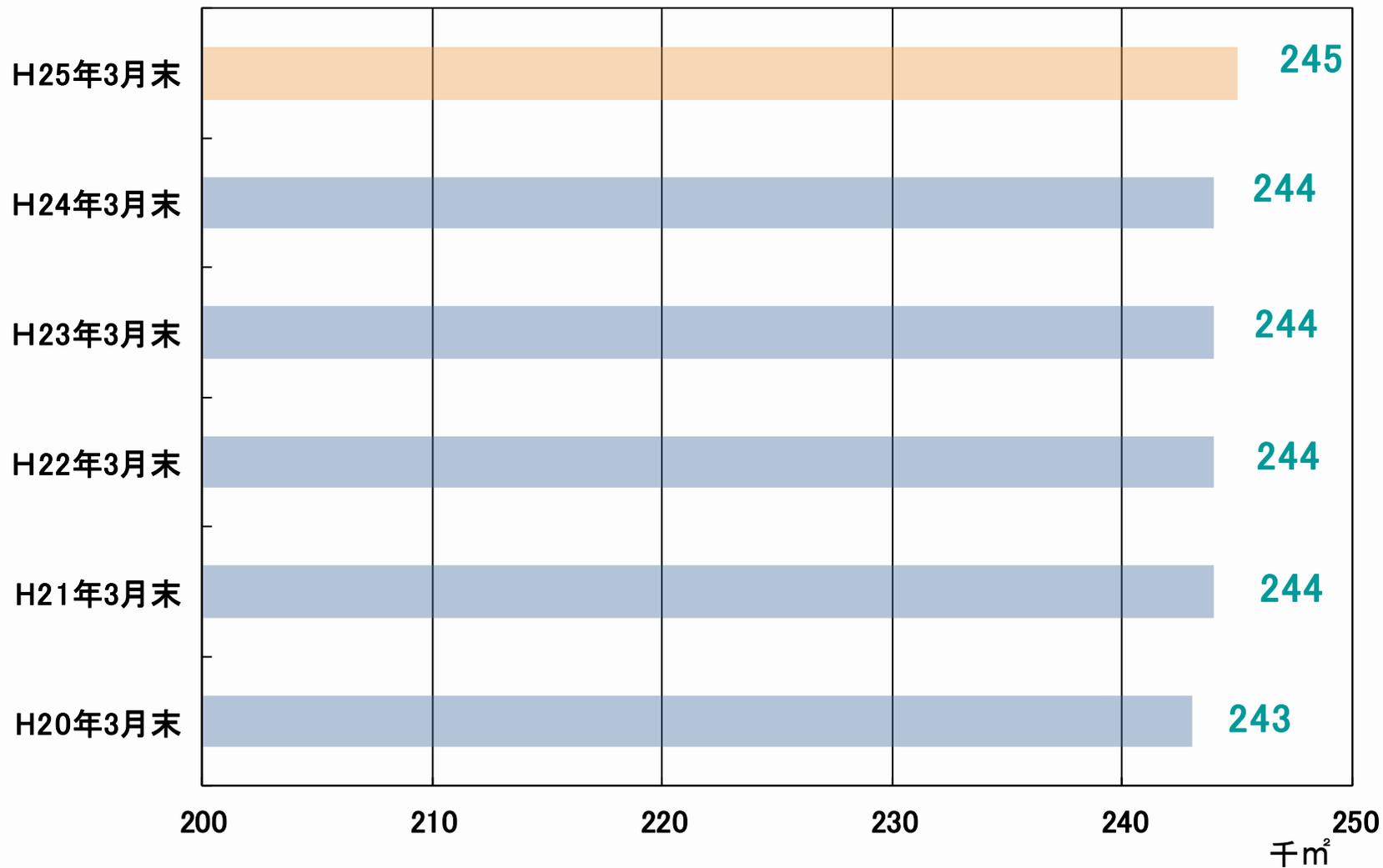
### 3. 港湾運送取扱量



## 4. 国際輸送取扱量



## 5. 賃貸ビル面積



**本日はありがとうございました。**



*Best Synergy & Best Solution*



< IRに関する連絡先 >

株式会社住友倉庫 事業推進部広報IR課  
〒550-0021 大阪市西区川口2-1-5  
TEL : 06-6581-1104 FAX : 06-6581-3870  
Mail : ir\_bx@sumitomo-soko.co.jp  
HP : <http://www.sumitomo-soko.co.jp/>